

平成15年度経営構造対策事業計画評価表（第1年度目）

都道府県目	石川県			施設整備	事業内容	実施(予定)年度	受益戸数	受益面積
市町村名	松任市				乾燥調製貯蔵施設	H15	1	27.0ha
地区名	相川新				菌床椎茸栽培施設	H15	1	0.1ha
認定年度	H15	目標年度	H19					

1 全国共通目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段：計画 中断：実績 下段：達成率)					達成状況 (評価)	
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目		
認定農業者の育成 (人)	1	1	1 1 100.0	1	1	1	1	1	
担い手への農地の 利用集積 (ha) 上段( )は 集積率で %	(61.1) 30.0	(76.4) 37.5	(62.1) 30.5 (65.2) 32.0 400.0	(67.2) 33.0 ( ) ( )	(71.3) 35.0 ( ) ( )	(74.3) 36.5 ( ) ( )	(76.4) 37.5 ( ) ( )		
遊休農地の解消 (ha)	0	0	0 0 100.0	0	0	0	0	0	
地域提案目標 (項目: )	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	

2 地区選択目標

(1)一般選択目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段：計画 中断：実績 下段：達成率)					達成状況 (評価)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
エコ米栽培の拡大 (ha)	0	4.9	0 0 100.0	3	4.5	4.7	4.9	
担い手経営体の年 間売上額の向上 (千円/年)	29,134	64,014	32,316 35,182 190.1	58,283	61,273	62,734	64,014	

(2)水田農業構造改革目標

ア．作付面積

作物名	品種名	計画時	目標	目標達成プログラム (上段：計画 中断：実績 下段：達成率)					達成状況 (評価)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	

イ．販売計画

作物名	品種名	計画時	目標	目標達成プログラム (上段：計画 中断：実績 下段：達成率)					達成 状況 (評価)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	

3 所見及び改善措置等

事 項	具 体 的 な 推 進 内 容
( 1 ) 全国共通目標	
認定農業者の育成	相川新地区において平成14年3月12日に(有)クリエートファーム松任を設立し、同年6月11日に認定農業者となったことから、事業計画の目標は達成された。
担い手への農地の利用集積	大豆転作農地の利用集積を図ることにより、会社の事業計画の達成を図った。
遊休農地の解消	現在、遊休農地はなく、今後とも(有)クリエートファーム松任が地区内の担い手として、地区内農地の効率的利用を図っていききたい。
地域提案目標	なし
( 2 ) 地区選択目標	
エコ米の生産拡大	消費者ニーズにあった米(41a)の試験栽培を行った。 牛糞堆肥と有機質肥料、減農薬栽培で県のエコ米基準に沿った栽培を行ったが、冷害の影響で米の収量は、平年より10%の減収となった。 販売面では、米の販売量が少なく、契約栽培ができなかった。 平成16年度は、県のエコ米認定を受けてエコ米の栽培面積の拡大を図りたい。
担い手経営体の年間売上額の向上	大豆面積の利用集積、米不作による米価の高騰により、売上額の向上の要因となった。
( 3 ) 施設の利用状況	水稻部門については、利用計画に基づき適正に処理され、利用率も概ね良好である。 椎茸部門については、散水だけでショックを与えていたが椎茸の発生が少なかった。また、冷暖房による温度格差を与えなかったため、菌床の発生日数が通常4カ月のところ6カ月発生に費やす等回転が悪く、利用率低下の要因となった。 現在は、温度ショックを取り入れ、適正な管理の下で消費者ニーズに対応した高品質な椎茸の生産拡大を図っている。
( 4 ) 担い手の受益割合	上記理由から、計画に対し処理量及び利用率は低いですが、担い手の受益割合としては100%で、今後も100%で推移していくものと思われる。

添付資料 1

都道府県経営・生産対策推進会議の所見

(1) 全国共通目標

3目標共にプログラムを達成しているが、今後はさらに農地の利用集積を進め、担い手である特定農業法人の経営安定化を図る必要がある。

(2) 地区選択目標

エコ栽培米は付加価値を高めるために有効であり、次年度からの本格的栽培に向けて、単収増加、販売先の確保等が重要な課題である。

担い手経営体の年間売上額の向上については、目標を達成している。

(3) 施設の利用状況

菌床椎茸栽培施設については、初年度ということもあり適正な管理がなされず、利用率は計画を大幅に下回った。次年度より、適正管理の徹底を図り、利用率の向上に努め、所得の向上を図っていく必要がある。

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
菌床椎茸栽培施設	（有）クリエートファーム松任

1 利用計画に対する利用状況

		処理量（ 1 ） （ t ）	利用率 （ % ）	達成状況
利用計画		21.38 2(H15)		
実績	平成15年度	0.17	8.5	×
	平成16年度			
	平成17年度			

2 担い手の受益割合

		処理量（ 2 ） （ t ） A	左のうち担い 手の利用 （ t ） B	担い手の受益 割合 （ % ） B/A	達成状況
利用計画		21.38 2(H15)	21.38 2(H15)	100 100	
実績	平成15年度	0.17	0.17	100	
	平成16年度				
	平成17年度				

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
乾燥調製貯蔵施設	（有）クリエートファーム松任

1 利用計画に対する利用状況

		処理量（ 1 ） （ t ）	利用率 （ % ）	達成状況
利用計画		135.0		
実績	平成 1 5 年度	107.6	79.7	
	平成 1 6 年度			
	平成 1 7 年度			

2 担い手の受益割合

		処理量（ 2 ） （ t ） A	左のうち担い 手の利用 （ t ） B	担い手の受益 割合 （ % ） B/A	達成状況
利用計画		135.0	135.0	100.0	
実績	平成 1 5 年度	107.6	107.6	100.0	
	平成 1 6 年度				
	平成 1 7 年度				